

蘭越町の概況

- 蘭越町域の多くがニセコ積丹小樽海岸国定公園に指定されるなど、自然豊かで風光明媚な美しい町。
- 特別豪雪地帯に指定されているものの、気候条件から農耕適地となっており、農業が町の基幹産業。
- ニセコ山系の一部として温泉・スキー開発が進められた経緯もあり、リゾート・別荘地としての性格を有する。

蘭越町をとりまく環境変化（広域の動き）

- 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う全国的な人の往來の再開。多様な観光形態、居住形態の模索。
- インバウンド需要の中長期的な増加。ニセコエリアにおける外国資本投下。個人旅行の増加。
- 北海道新幹線整備に伴い並行在来線のあり方を検討（長万部～小樽はバス方式に）。自動車専用道の整備と本町への延伸の期待。

蘭越町の現況・問題点

《人口》

- 就業の場の不足などを要因に、昭和35年以来人口が減少を続けている。
- 人口減少、少子高齢化が進み、今後20年で人口は約半数にまで減少すると推計される。
- ニセコ・倶知安の従業者の住まいとしてニーズが高く、人口の社会増加も生じている。

《産業基盤》

- 農業を基幹産業としており、らんこし米はブランド米として高い評価を得る。
- 後継者問題などから営農者は減少を続けている。近年は米以外の生産にも力を入れている。
- 7つの温泉郷を有し、一部には別荘地として開発された箇所も存在。

《交通基盤》

- JR函館本線やコミュニティバス、その他輸送サービスはあるものの、町民の日常生活は自動車に依存している。

《自然環境》

- 豊かな自然環境があり、貴重な生態系を有する。
- 湧水・地下水の資源も豊富であり、一部の集落などでは、井戸の利活用も積極的に行われる。
- 地熱の存在など、再生可能エネルギーの多面的な活用が可能。

《防災》

- 尻別川周辺における氾濫リスクや土石流危険渓流が各地に存在している。

蒸気噴出事案による影響

- 噴出発生中のマスコミ報道により、全国に蘭越の名前が報道され、町民生活や産業に与えた影響は小さくない。
- 施設の休業や道路の通行止め、井戸水や専用水道におけるヒ素成分の検出、農業用水の取水制限といった直接的な影響も発生。
- 本町の農産物の購入キャンセルや宿泊施設における利用者減少など、産業に対する風評被害も発生。
- その他、自然環境に与えた影響については、環境影響調査として数年をかけて調査を実施予定。

住民意向

【蒸気噴出による影響】

- 事案により、何らかの影響を受けたと感じる人が8割。

【影響を受けた事項】

- 河川や土壌などの自然環境（5割）や飲料水などの生活環境（3割）、健康への影響（3割）といった物理的影響への心配はもとより、産業に関する風評被害（8割）やまちのイメージダウン（5割）の影響を不安視する声の方が相対的に大きい。
- 今後何らかの対策を取るべきと回答した町民が6割。
- 自由回答の記述では、蘭越米への影響を心配する声が大多数であるとともに、噴出収束に関するマスコミ報道の少なさや事案収束後の継続的な情報発信に対するニーズも存在。

【再生可能エネルギーの動向】

- 脱炭素化に向けた取組の必要性には理解を示す町民も多い。
- 安全確保を前提として、地熱活用の再開に向けて理解している町民も多い。

産業に関する風評被害やまちのイメージダウンの影響を不安視する声の方が相対的に大きく、風評被害対策やイメージ回復に向けた取組を進めていく必要がある。

今回の事案を契機と捉えたイメージ回復に向けた取組の必要性を指摘する町民の声も存在している。

■地域再生にあたっての課題

まちの生業の再興・強化が必要

蘭越ブランド形成の重要な役割を持つらんこし米の市場価値低下を懸念する声も多く、実際に影響を指摘する生産者も存在している。農業生産者への直接的・間接的な支援、市場へのPRなどを通して、町における農産物（加工品含む）の高付加価値化に改めて取り組む必要がある。農業は町の基幹産業の一つであり、高付加価値化を通してビジネスとしての魅力を高め、営農者の減少に歯止めをかけ、町全体としての生産力を確保していく必要がある。

日常生活における安全・安心・賑わいの確保が必要

地下（井戸）水におけるヒ素の検出など、事案の影響が無視できない事態も発生している。町民の安全・安心な日常生活の再開に向けて、影響を軽減するための環境整備に取り組む必要がある。地熱をはじめとする豊かな自然資源を有する反面、自然に起因するリスクも存在している。このリスクに適切に対応しながら、町民の安全・安心な暮らしを実現していく必要がある。また、町のイメージ低下を懸念する声も多く、町ならではの暮らしの価値を再発見・PRし、町への誇りや愛着を高めていく必要がある。

外部への適切な情報発信による町への来訪・定住促進が必要

蒸気噴出により、町の名前は全国に報道されが、収束に関する報道は少なく、町のイメージ低下は避けられない状況となった。正しい情報発信やPR活動などにより、イメージ低下の回避ならびにイメージ向上を図る必要がある。また、近隣町におけるインバウンド増加といった契機を活かすための新たなPR活動により、町への来訪や移住を促進していく必要がある。

■地域再生の方針

らんこしの元氣再生 ～生業・暮らし・イメージの一体的な回復・発展～

1. 蘭越産品の高付加価値化を通じた生業の魅力強化
 - ↳ 1.1 らんこし米の生産基盤、ビジネスとしての魅力強化
 - ↳ 1.2 風評被害に関する営農者の経営支援
 - ↳ 1.3 蘭越産品のプロモーションを通じた販路拡大
2. 町への愛着を高めるための生活環境の維持・向上
 - ↳ 2.1 蒸気噴出による直接的影響からの復旧
 - ↳ 2.2 非常時における対応力の強化
 - ↳ 2.3 再生可能エネルギーの活用など、持続可能な暮らしの推進
 - ↳ 2.4 次世代を育む、定住意向の高い“蘭越暮らし”の実現
3. 蘭越への来訪・移住を誘発するための環境づくり
 - ↳ 3.1 まちのブランド力向上に向けた情報発信
 - ↳ 3.2 来訪者の受け入れ環境の整備
 - ↳ 3.3 定住希望者の受け入れ環境の整備